

ご存知ですか？

公的資金による助成を受けた

研究成果論文の即時OA義務化

について国が方針を策定中（2025年度新規公募分～）

オープンアクセス（OA）実現の主な方法



グリーンOA*

- 😊 著者の費用負担 0
- 😞 ファイル公開等の手間がかかる場合あり



ゴールドOA

- 😞 著者の費用負担大
- 😊 著者に追加の手間なし

機関リポジトリOUKAならラクに無料でOA化

附属図書館がサポートします！



研究者

- ✓ 共著の場合、共著者にリポジトリ登録の同意を得る
- ✓ リポジトリ登録支援システムで公開可能な版を確認、論文ファイルをアップロード



図書館担当者

- ✓ 出版社の著作権ポリシー等を確認、登録作業
- ✓ 登録完了後、研究者にメールで通知



OUKA

- ✓ 誰でも無料で閲覧可能
- ✓ 論文情報は各種DBにもハーベストされ、研究成果の可視化を促進

スムーズなグリーンOA化のため、論文がアクセプトされた時点で**共著者の同意・著者最終稿（Accepted Manuscript）の準備**をしておくことをおすすめします。

[リポジトリ登録支援システム詳細](#)



*グリーンOA化には、機関リポジトリの他、分野別リポジトリ、プレプリントサーバ、セルフアーカイブ（研究者SNS、研究室HP）といった手段があり、それぞれOA化プロセスや読者からのアクセスルート等が異なります。また、同一の論文を複数のプラットフォームでグリーンOA化することや、ゴールドOA済の論文をさらにグリーンOA化することも可能です。



[機関リポジトリOUKAについての問合せ]
大阪大学附属図書館 学術情報整備課 電子コンテンツ担当
TEL 06-6850-5071（内線 豊中5071・5819）
e-mail ouka@office.osaka-u.ac.jp



大阪大学のゴールドOA支援（2023年度）

出版社と大阪大学との契約により、

APC : Article Processing Charge（OA出版料）の免除・割引を受けられる場合があります！

Springer Nature

Springer Nature社
日本における転換契約
パイロットプロジェクト



Springer Nature社との転換契約（パイロットプロジェクトに参加中）により、大阪大学構成員が責任著者であり、かつ、**一定の条件※**を満たせば、**費用の一部もしくは全額が免除**されます。

●対象：Springer, Adis, Palgrave Macmillan, Academic journals on nature.com のハイブリッドOA誌

★フルOA誌、Nature関連誌は対象外 ★対象ジャーナルは[Springer Natureのサイト](#)で確認できます。

NEW

Wiley ※2024年1月～

Wiley社
Open access agreement
for authors at eligible
Japanese institutions



2024年1月より、Wiley社との転換契約を導入します。大阪大学構成員がResponsible Corresponding Authorであり、かつ、**一定の条件※**を満たせば、**費用の一部もしくは全額が免除**されます。

●対象：WileyのハイブリッドOA誌およびフルOA誌, Hindawi（すべてフルOA誌）

★対象ジャーナルは[Wileyのサイト](#)で確認できます。

※条件・申込方法は**マイハンダイ**（学内者限定）

「**英語論文の投稿支援**」に掲載の**募集要項・取扱説明書**をご確認ください。

●対象ジャーナルに投稿された場合、出版社ウェブサイトにて、責任著者の所属として大阪大学を選択し、オープンアクセスを希望、と選択してください。その上で、上記の本学募集要項に記載されたオンラインフォームからお申し込みください。



〔転換契約によるAPC免除等、投稿支援事業の問合せ〕
研究推進部 研究企画課 研究支援事業係
e-mail research-support@office.osaka-u.ac.jp

Cambridge University Press (CUP) Rockefeller University Press (RUP) Royal Society of Chemistry (RSC)

RSCは2023年の年間無料枠の上限に達したため、12月中は15%のAPC割引のみ利用できます。2024年1月より、新たに25件の年間無料枠が適用されます。

これらの出版社との契約により、大阪大学構成員が責任著者であれば、**APCが無料**になります。

●対象期間・対象ジャーナル・年間の適用論文数の上限などの条件は、出版社ごとに異なります。

対象期間・ジャーナル・利用条件・申し込み方法等の詳細は

図書館webサイト「**APC（オープンアクセス出版料）の免除・割引**」を

ご覧ください。

ここに挙げていない出版社のAPC免除・割引情報等も掲載しております。

附属図書館TOP>学習・研究支援>APC（オープンアクセス出版料）の免除・割引

<https://www.library.osaka-u.ac.jp/research/apc/>



〔APCの免除・割引の問合せ〕
附属図書館 学術情報整備課 雑誌・電子資料担当
e-mail tosyo-seibi-zassi@ml.office.osaka-u.ac.jp